

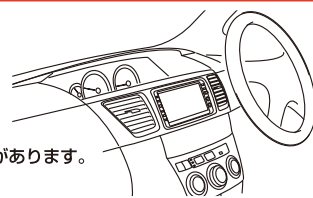
取扱説明書 EC-256 マグタブホルダー

ご使用前に下記の注意と警告事項を必ずお読みください。
お客様への危害ならびに財産への損害を未然に防ぐための
内容を記載しています。

EXEA®

取付け前に

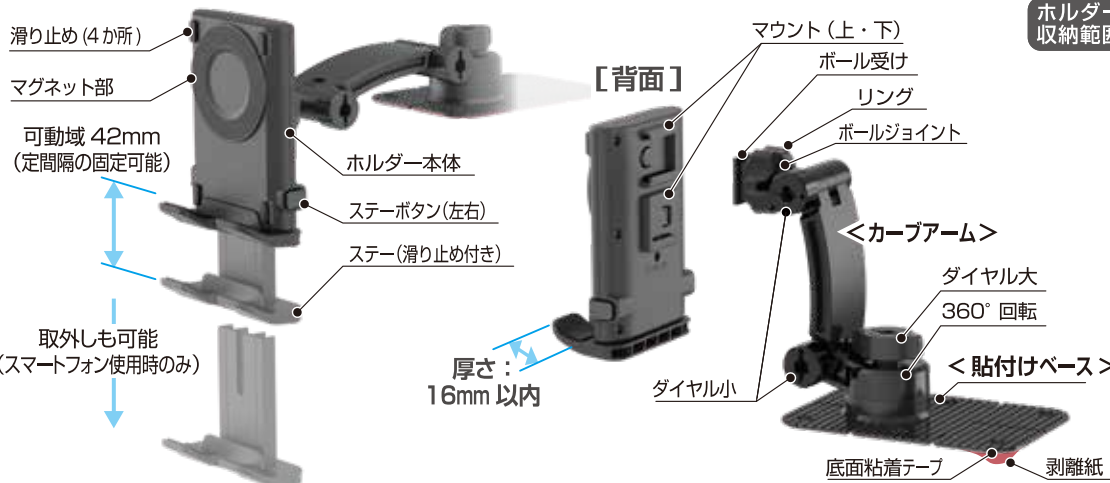
- 収納するタブレット・スマートフォンの大きさに合わせて角度を調整し、設置場所のシミュレーションと取付け場所の清掃を必ずおこなってください。
- 本製品は以下の場所には取付けることができません。
 - ※ 垂直面に近い場所や逆さま・ホコリや油分などのある場所・すき間・段差・繊維・皮革・布地などへの貼付けはできません。
 - ※ 経年車の場合は、取付け場所の劣化や変質による破損や脱落のおそれがありますので取付けできません。
- ダッシュボードの材質・曲面により取付けできない場合があります。無理に取付けしないでください。
- 取付け作業は、必ずお車を停止させ、エンジンを切った状態でおこなってください。
- 収納するタブレット・スマートフォンの形状によって安定したホルダーができない場合やホルダーの取付けが不安定な場合は使用しないでください。
- 本製品は強力な両面テープを使用していますので、貼付け後の取外しはできません。万が一、取外す場合は車両側の接着面に破損・跡などが発生する場合があります。
- ※ 使用する前に取付け場所の材質については車の説明書や自動車メーカーへの問い合わせなどで必ずご確認ください。
- 本製品に充電機能はありません。



注意と警告

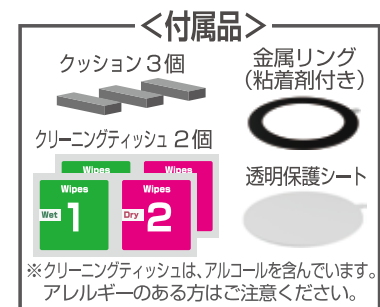
- 本製品は、道路運送車両の保安基準に抵触しないよう以下の場所には絶対に取付けしないでください。
 - ※ 運転者前方視界の妨げになる場所。フロントガラス、運転席・助手席のサイドガラス、および三角窓。
(詳しくは、弊社 HP の前方視界基準の説明ページをご確認ください。
<https://www.seikosangyo.co.jp/exea/frontv/>)
 - ※ 突起物として危険の生じる場所 (とくにチャイルドシートの正面)。
 - ※ 万一落下した場合に運転者の操作の妨げになる場所。
 - ※ 安全装置 (エアバッグ・シートベルトなど) の作動・効果を妨げる場所やステアリング付近。
 - ※ 本製品または収納物がステアリングと接近して運転操作の妨げになる場合。
(十分な距離が確保できない・調節できない場合。)
- 本製品は強力な磁石を使用しています。
 - ※ 心臓ペースメーカーを使用されている方は絶対に本製品を近づけないでください。
 - ※ スマートフォンを取外す場合は本製品の磁石の跡などがつく場合があります。
- 本製品付属のクリーニングティッシュは、アルコールを含んでいます。
 - ※ アレルギーのある方は使用しないでください。
- ※ また使用する前に取付け場所の材質についても車の説明書や自動車メーカーへの問い合わせなどで必ずご確認ください。
- 本製品はすべての車両への取付けを保証していません。
 - ※ 常時強い振動が発生する車両 (工事作業車など) への取付けはできません。
- 取付けは明るい日中におこなってください。
- 貼直しは接着力が大幅に低下しますので絶対にしないでください。
- 貼付直後は接着力が弱いので十分ご注意ください。
- ※ 両面テープの接着力が発揮される目安は、貼付け 24 時間以降です。
- 必ず付属のクッションをアーム、ホルダー部に貼付けて、車両に接地させてご使用ください。
- 走行による振動などで、貼付けベースに想定以上の重量・負荷がかかり、落下する危険があります。
- 本製品の磁石は強力ですが、タブレット画面の端など、磁石から離れた位置を操作する際には、想定以上の荷重・負荷がかかり、容易に落下する危険があります。
- ※ 本製品のホルダー本体より外側の画面を操作する際は、必ずタブレットを手で押さえて操作してください。
- 本製品はホルダー本体を、横向き、上下を逆さまにして使用はできません。
- 本製品が周辺と干渉の可能性がある場合は使用しないでください。
- 収納する機器の形状によって安定したホルダーができない場合は使用しないでください。
- 運転中に本製品やご使用になる機器の操作は大変危険ですのでおやめください。
- ※ 必ず車を安全な場所へ停車させてから接続・操作などをおこなってください。
- 収納する機器の形状によって安定したホルダーができない場合は使用しないでください。
- 走行中の激しい振動により、ご使用になる機器が落下する場合があります。
- ※ 不整地や路面の悪い道路を走行する場合は、本製品の使用を中止してください。収納物が落下し、事故につながる危険があります。
- ※ 急発進・急ハンドル・急停止でも、収納物が落下するおそれがありますので十分ご注意ください。
- ※ 収納物は振動や着脱でキズつくおそれがあります。キズつけないものは取付けしないでください。
- 直射日光などでホルダー本体が高温になっていると、マグネットの磁力が著しく低下する場合があります。
- 直射日光や高温になる場所でのご使用は、本製品及び車両側や接続機器の故障、破損の原因となります。
- 炎天下の車内でご使用になる機器・収納物を放置しないでください。
- 炎天下の車内でご使用になる機器を放置しないでください。
- ※ 熱による製品本体、ご使用になる機器が、変形・破損・故障のおそれがありますのでご注意ください。
- 本製品にタブレットを取付けて使用する際は、必ずステーを取付けた状態で、可動域内でご使用ください。
- 本製品、並びに収納物を取付ける際やご使用中の落下、車両側に使用前との差異が生じた場合の損害 (破損・キズ・変色・跡など) は、弊社では責任・補償を負いかねます。
- 耐熱・耐候性に優れた素材を使用していますが、炎天下の車内や経年劣化などで変形・変質する場合があります。
- 本製品は自動車専用です。他の用途にはご使用になれません。
- 画像はすべてイメージです。
- 本製品による取付けた機器の破損・消失 (ご使用になる機器のメモリー・データ) に関して、弊社では責任を負いかねます。
- ※ 必ずバックアップデータを記録するように心掛けてください。
- 本台紙記載のご注意に従わない場合や、誤った取付け・分解・改造をされた際の事故・故障・損害につきましては、弊社では一切その責任を負いかねます。

部品一覧と名称・取付け寸法について



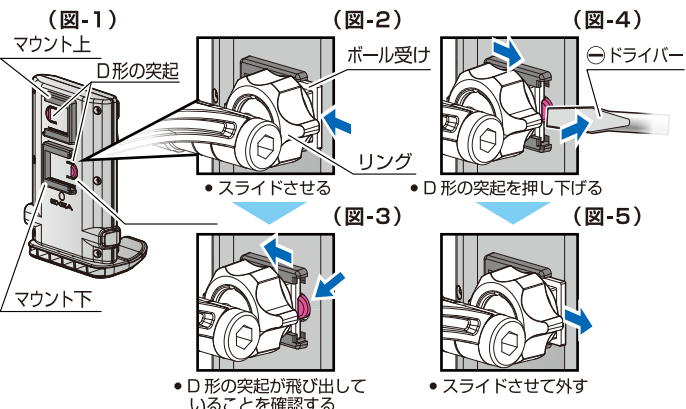
ホルダー
収納範囲
高さの目安: 60~260mm以内、
厚さ: 16mm以内、耐荷重: 600g以下
※ケースやストラップなどを含めた重さです。

貼付けベース
貼付けるには、段差のない
取付範囲 120×80mmの面が必要です。



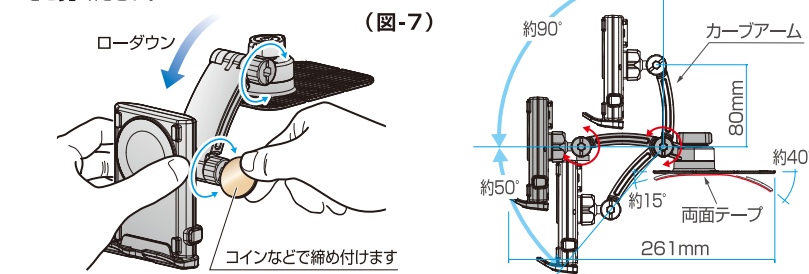
マウントについて

- ホルダー本体背面にマウント上・下の取付位置があります。(図-1)
(マウント下への取付けで説明します。)
- 横からスライドさせ、D 形の突起がかかる位置まで必ず入れてください。(図-2)
奥までスライドさせて、突起がボール受けの横に飛び出して、ボール受けを固定していることを確認してください。(図-3)
- ※ 固定が不十分だと、ホルダー本体とカーブアームが分離して、落下の危険がありますので必ずご確認ください。
- 取付位置を変更するときは、マウント横の突起を⊖ドライバーなどで押し下げながら、ボール受け・リングを横にスライドさせて、外します。(図-4、5)



貼付けベースについて

- 本製品はカーブアームを360°の回転調整が可能です。(図-6)
- 2カ所のダイヤル小を調整することで、カーブアームを90°立ち上げたり50°下げたローダウンの位置にすることが可能です。(図-7、8)
- ダイヤル小の凹部をコインなどで締めることで確実に角度を固定できます。(図-7)
- ※ 運転手や同乗者の視界の妨げにならないよう、取付け位置には十分ご注意ください。
- ※ 収納するタブレット・スマートフォンの大きさに合わせて角度を調整し、設置場所のシミュレーションを必ずおこなってください。
- ※ 必ず両手で本製品を支えながら締め付けてください。(図-7)
- ※ 無理な力で締め付けると破損やけがのおそれがありますので十分に注意してください。
- 設置の際には、必ず付属品のクッションを使用してください。詳細は次頁の「シミュレーションをおこなう際の注意事項」をご覧ください。



金属リングと保護シートの貼付けについて

●タブレット、Android スマートフォンや Apple MagSafe に対応していない機種・ケースを使用する際は、保護シートと金属リングをタブレット・スマートフォンの背面、もしくはケースの背面に貼付けてご使用ください。

※ワイヤレス充電機能のあるタブレット・スマートフォンは、金属リングを貼ることによってワイヤレス充電できなくなる場合があります。

※ケースに貼付ける場合は、必ず背面外側に貼付けてご使用ください。ケースの内側では磁力が不足して十分な吸着力を確保できません。

またケースの種類・構造・材質によっても磁力が不足する場合があります。

※手帳型ケースや表面に凹凸のあるケースなどへは脱落のおそれがありますので取付けできません。

●MagSafe対応機種を使用する際は保護シートのみをタブレット・スマートフォンの背面、もしくはケースの背面に貼付けてご使用ください。

●保護シートの貼付け前に、タブレット・スマートフォンの背面またはケース背面をクリーニングティッシュで汚れ・ホコリ・油分などを落としてください。

①クリーニングティッシュ1 (Wet) を使用して清掃してください。(図-9, 11)

②クリーニングティッシュ2 (Dry) を使用して水分を拭き取ってください。(図-10, 図-11)

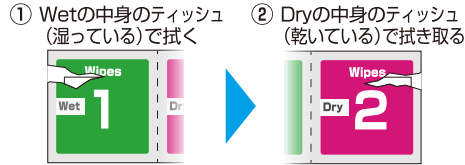
③タブレット・スマートフォンの背面、もしくはケース背面に保護シートの剥離紙をはがして、保護シートを貼付けてください。

タブレットの場合は、できるだけ中心位置に貼付けてください。(図-12)

④金属リングの剥離紙をはがして金属リングを保護シートの中心になるように貼付けてください。(図-13)

(図-9)

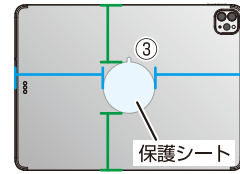
(図-10)



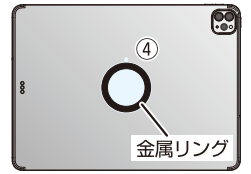
(図-11)



(図-12)



(図-13)



●よく水分を拭き取る

●タブレットの場合はできるだけ中心に

●貼付け直後は接着力が弱いのでご注意ください。両面テープの接着力が発揮される目安は貼付け24時間以降です。

シミュレーション/貼付け前のご注意

●収納する機器の大きさを確認してください。とくにタブレットは、ホルダーよりも左右に大きくはみ出すのでご注意ください。(図-14)

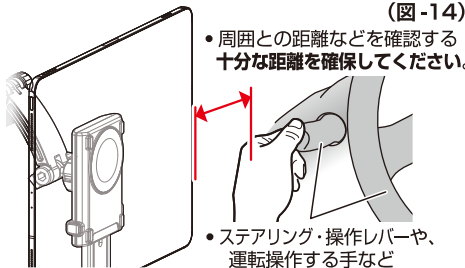
※ステアリングや運転操作・レバー/スイッチの可動の妨げにならないことをご確認ください。(図-14)

※運転者前方視界の妨げにならない位置であることもご確認ください。(図-15)

●必ず付属品の「クッション」を使用して、アームまたはホルダー本体が車両に接して設置できることをご確認ください。(図-16)

※貼付けベースは強力な両面テープを使用しておりますが、貼付け条件などによっては、ホルダー本体を空中で支え続けることができない場合があります。

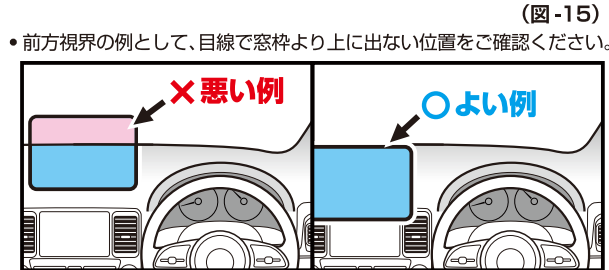
※本製品と車体の接触時のキズ防止や車の振動などによるブレを抑える効果もあります。



(図-14)

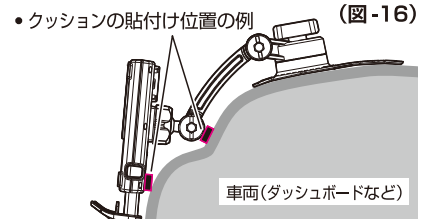
●周囲との距離などを確認する
十分な距離を確保してください。

●ステアリング・操作レバー、
運転操作する手など



(図-15)

●前方視界の例として、目線で窓枠より上に出ない位置をご確認ください。



(図-16)

●クッションの貼付け位置の例

車両(ダッシュボードなど)

ホルダー本体を支えるような位置に貼付けてください。
(クッションは、本製品側に貼付けてください。)

貼付けベースの貼付けについて

●貼付け面については下記の注意を再度ご確認ください。

※皮革・布地には貼付けできません。また曲面や球面など、両面テープの接着面の全てが密着しないような凹凸のある場合の貼付けは避けてください。

※貼付けは暖かい日中におこなってください。

※直射日光の当たる場所への貼付けは、両面テープの接着力が弱くなりますので、避けてください。

※本製品は強力な両面テープを使用していますので、貼付け後の取外しはできません。

万一、取外す場合は車両側の接着面に破損・跡などが発生する場合があります。

※貼付け場所の汚れ・ホコリ・油成分などを中性洗剤でよく落としてください。

※貼付け場所の素材が中性洗剤で拭いても変質しないか、車の説明書や自動車メーカーへの問い合わせなどで必ずご確認ください。

①シミュレーションで決めた位置の周囲を乾いた布などでホコリを落としてください。(図-17)

△ご注意

※付属のクリーニングティッシュは、アルコールを含んでいます。アレルギーのある方はご使用になれません。クリーニングティッシュを使用できない場合は、以下の項目②,③の代わりに水拭きをして、良く乾かしてから、④にお進みください。

②付属のクリーニングティッシュ1 (Wet) を使用して清掃してください。(図-18)

③付属のクリーニングティッシュ2 (Dry) を使用して水分を拭き取ってください。(図-19)

④貼付けベースは、曲面に合わせて曲げることができます。(図-20)

※回転軸部分(中央部分)は、曲げにくいのでご注意ください。

⑤あらかじめ、貼付ける面の形状に合うように曲げてください。少し曲げすぎるくらいに曲げてください。

※平らなまま貼付けると貼付けベースの反発力で両面テープが剥がれる場合があります。(図-20)

⑥底面の両面テープの剥離紙を剥がし、シミュレーションで決めた貼付け位置に、密着するようにしっかり押しつけて貼付けてください。(図-21, 22)

※貼直しはできませんので、慎重に作業をおこなってください。貼直しは接着力が大幅に低下します。

①ホコリを落とす (図-17)



●乾いた布など

(図-18)

②Wetの中身のティッシュで拭く



●ティッシュ(湿っている)

(図-19)

③Dryの中身のティッシュで拭き取る



●ティッシュ(乾いている)
●よく水分を拭き取る

④⑤貼付ける面に (図-20)
なじむように曲げる



●回転軸部分
●少し曲げすぎるくらいに曲げる

⑥剥離紙をはがし、シミュレーションで決めた貼付け位置に貼付ける (図-22)



●剥離紙をはがす ●しっかり押しつけて貼付ける

●貼付け直後は接着力が弱いのでご注意ください。両面テープの接着力が発揮される目安は貼付け24時間以降です。

ご使用について

●貼付け24時間以上経過後に・・・（イラストはタブレットで説明しています。）

- ①シミュレーションで確認した位置（接地位置）にクッションを貼付けます。（上記：図-16）
（ホルダー本体背面やカーブアームなど、本製品に貼付けてください）
- ②カーブアーム・ステーなどの調節をおこない、車両に貼付けたクッションが接するようにホルダー本体の位置を固定します。（上記：図-16）
- ③左右のステーボタンを押しながらステーを下げます。（図-23）
- ④タブレット/スマートフォン背面の金属リングまたは、Apple MagSafeの接続位置と本製品のマグネット部の位置を合わせて取付けます。（図-24）
- ⑤ステーをタブレット/スマートフォンに接するまで押し上げてください。（図-25）

※タブレット・スマートフォンを取外す際は、必ずホルダーまたはアームを押さえながら引き離すように取外してください。

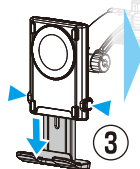
●タブレットをご使用の際は、必ず補助としてステーをご使用ください。

※ステーを取外さないでください。

タブレットの端にわずかな力がかかる（指先でタップする）程度でも、テコの原理で、容易に外れて落下する危険があります。（図-26）

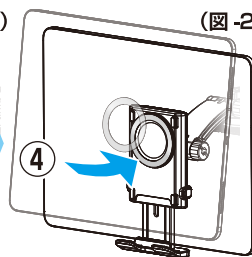
※タブレット使用時は、ホルダー部を横向きで使用しないでください。（図-27）

（図-23）



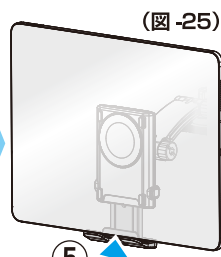
●ステーを下げる

（図-24）



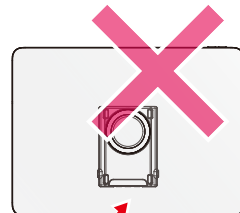
●位置を合わせて取付ける

（図-25）



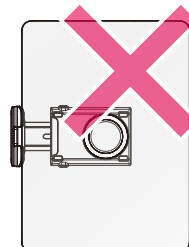
●ステーを押し上げる

（図-26）



X ステーを取外す

（図-27）



Xホルダーを横向き

GC-1

星光産業の新製品情報や
役立つ情報などが満載

星光産業株式会社ホームページ
<https://www.seikosangyo.co.jp>



製品に関するお問い合わせは星光産業サービスセンターへどうぞ

TEL(048)984-1290(直通)

月曜日～金曜日(祝日を除く) 9:00-12:00 13:00-17:00

クルマにもっと自分らしさ……

星光産業株式会社
SEIKOSANGYO CO., LTD.

〒342-0043 埼玉県吉川市小松川 561-1

JAAMA 全国自動車用品工業会会員

※EXEA(エクセア)は星光産業株式会社の登録商標です。

※この製品は日本国内で企画され、中国で製造されたものです。

※この製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。

※iPhone, iPad, MagSafe は、Apple Inc.の商標です。

※iPhone, iPad, MagSafe についてのご質問は機器の取扱説明書に従ってください。

※Androidは、Google Inc.の商標です。

※その他、本紙に記載されている商品名などは、各社の商標または登録商標です。